

正誤表

特定原動機型式指定実施要領（平成22年8月5日修正版正誤表）

| 正   | 誤   |
|---|---|
| <p style="text-align: center;">特定原動機型式指定実施要領</p> <p>別紙4 試験特定原動機選定要領<br/>（略）</p> <p>・軽油を燃料とする特定原動機の仕様区分<br/>(1) A項目</p> <p style="padding-left: 20px;">原動機本体の仕様</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 燃焼サイクル（4サイクル等）</li> <li>・ 冷却方式（空冷、水冷等）</li> <li>・ シリンダ・ブロック形状（直列、V型等）</li> <li>・ 総排気量（1気筒当たりの排気量が750cc以上のエンジンで、総排気量差が15%<u>以内</u>、1気筒当たりの排気量が750cc未満のエンジンで、総排気量差が30%以内、ただし、同一シリンダ数）</li> <li>・ 燃焼室形式（副室式、直噴式等）</li> <li>・ 燃料供給方式（列形、分配形、ユニットインジェクタ、コモンレール等）</li> <li>・ 弁機構（OHV、OHC等）</li> <li>・ 過給機（装着の有無）</li> <li>・ 給気冷却器（装着の有無）</li> </ul> <p style="text-align: center;">（略）</p> <p>別紙6-2 申請特定原動機の運転実施済証及び基準適合証（8モード及びNRTCモード）の記載要領<br/>（略）</p> <p>1. 第3号様式（8モード及びNRTCモード）の項目別記載方法<br/>(1)～(5) （略）</p> <p>(6) 運転の実施結果等<br/>ア～ウ （略）</p> <p>エ 劣化補正值<br/>（略）</p> <p>(ア) 告示第4条に掲げる運転による場合<br/>8モード法及びNRTCモード法により、それぞれ、CO、NMHC、NOx及びPMの各排出ガス成分ごとに劣化補正值を算出する。まず、排出ガス値（<math>y_i</math>：単位はそれぞれ告示で定めるものとし、告示で定める基準値の2桁下の位を<u>切り捨て</u>、基準値の1桁下の</p> | <p style="text-align: center;">特定原動機型式指定実施要領</p> <p>別紙4 試験特定原動機選定要領<br/>（略）</p> <p>・軽油を燃料とする特定原動機の仕様区分<br/>(1) A項目</p> <p style="padding-left: 20px;">原動機本体の仕様</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 燃焼サイクル（4サイクル等）</li> <li>・ 冷却方式（空冷、水冷等）</li> <li>・ シリンダ・ブロック形状（直列、V型等）</li> <li>・ 総排気量（1気筒当たりの排気量が750cc以上のエンジンで、総排気量差が15%<u>以上</u>、1気筒当たりの排気量が750cc未満のエンジンで、総排気量差が30%以内、ただし、同一シリンダ数）</li> <li>・ 燃焼室形式（副室式、直噴式等）</li> <li>・ 燃料供給方式（列形、分配形、ユニットインジェクタ、コモンレール等）</li> <li>・ 弁機構（OHV、OHC等）</li> <li>・ 過給機（装着の有無）</li> <li>・ 給気冷却器（装着の有無）</li> </ul> <p style="text-align: center;">（略）</p> <p>別紙6-2 申請特定原動機の運転実施済証及び基準適合証（8モード及びNRTCモード）の記載要領<br/>（略）</p> <p>1. 第3号様式（8モード及びNRTCモード）の項目別記載方法<br/>(1)～(5) （略）</p> <p>(6) 運転の実施結果等<br/>ア～ウ （略）</p> <p>エ 劣化補正值<br/>（略）</p> <p>(ア) 告示第4条に掲げる運転による場合<br/>8モード法及びNRTCモード法により、それぞれ、CO、NMHC、NOx及びPMの各排出ガス成分ごとに劣化補正值を算出する。まず、排出ガス値（<math>y_i</math>：単位はそれぞれ告示で定めるものとし、告示で定める基準値の2桁下の位を<u>四捨五入</u>、基準値の1桁下の</p> |

位まで算出した値とする。整備の前後に測定を実施した場合には、整備後の値を用いる。)及びそれぞれの測定時における運転時間(x<sub>i</sub>:単位はhとする。以下同じ。)を用いて、yとxの関係を示す式 $y = a + b \times x$ のaとbを次の式により求める。

(以下 略)

(イ) (略)

(ウ) 外挿法による場合

外挿法を適用する場合は、8モード法及びNRTCモード法により、それぞれ、CO、NMHC、NO<sub>x</sub>及びPMの各排出ガス成分ごとに劣化補正値を算出する。まず、排出ガス値(y<sub>i</sub>:単位はそれぞれ告示で定められたものを用いるものとし、告示で定められた基準値の2桁下の位を切り捨て、基準値の1桁下の位まで算出した値とする。以下、本項における排出ガス値は外挿値も含め、すべて同様の方法で算出する。また、整備の前後に測定を実施した場合には、整備後の値を用いる。)及びそれぞれの測定時における運転時間(x<sub>i</sub>:単位はhとする。以下、本項における運転時間は外挿値も含め、すべて単位はhとする。)を用いて、yとxの関係を示す式 $y = a + b \times x$ のaとbを次の式により求める。

(略)

別紙9 特定原動機の諸元表の記載要領

第1 (略)

第2 項目別記載要領(第1号様式関係)

1 記入項目

1-1~1-5 (略)

1-6 燃料の種類

ガソリン、軽油、LPGの別を記入する。

ただし、脂肪酸メチルエステルが質量比0.1%以下の軽油(バイオディーゼル燃料を混合しない軽油)を使用することを前提に製作された**特定原動機**については、軽油に替えて軽油(イ)と記入する。

(略)

位まで算出した値とする。整備の前後に測定を実施した場合には、整備後の値を用いる。)及びそれぞれの測定時における運転時間(x<sub>i</sub>:単位はhとする。以下同じ。)を用いて、yとxの関係を示す式 $y = a + b \times x$ のaとbを次の式により求める。

(以下 略)

(イ) (略)

(ウ) 外挿法による場合

外挿法を適用する場合は、8モード法及びNRTCモード法により、それぞれ、CO、NMHC、NO<sub>x</sub>及びPMの各排出ガス成分ごとに劣化補正値を算出する。まず、排出ガス値(y<sub>i</sub>:単位はそれぞれ告示で定められたものを用いるものとし、告示で定められた基準値の2桁下の位を四捨五入、基準値の1桁下の位まで算出した値とする。以下、本項における排出ガス値は外挿値も含め、すべて同様の方法で算出する。また、整備の前後に測定を実施した場合には、整備後の値を用いる。)及びそれぞれの測定時における運転時間(x<sub>i</sub>:単位はhとする。以下、本項における運転時間は外挿値も含め、すべて単位はhとする。)を用いて、yとxの関係を示す式 $y = a + b \times x$ のaとbを次の式により求める。

(略)

別紙9 特定原動機の諸元表の記載要領

第1 (略)

第2 項目別記載要領(第1号様式関係)

1 記入項目

1-1~1-5 (略)

1-6 燃料の種類

ガソリン、軽油、LPGの別を記入する。

ただし、脂肪酸メチルエステルが質量比0.1%以下の軽油(バイオディーゼル燃料を混合しない軽油)を使用することを前提に製作された**特定特殊自動車**については、軽油に替えて軽油(イ)と記入する。

(略)